

# 第 I 章 「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集」の活用に向けて

## 1 『遊びきる子ども』をめざして

鳥取県教育委員会では、めざす幼児の姿を『遊びきる子ども』として、幼児教育の充実に向けた取組を推進しています。

『遊びきる子ども』を育むためには、保育者の資質の向上や園の教育力・保育力の向上を図ることが重要です。園内研修を進めていくにあたり、「鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版）」、「鳥取県幼保小連携カリキュラム」及び本冊子を参考に、園の課題等に応じた研修内容の在り方を考え、園内研修に取り組みましょう。

### 『遊びきる子ども』

遊びと生活の中で、心も頭も体も一緒に育つのが乳幼児期の特徴です。友達との集団生活を通して、『遊びきる子ども』を育てていくことをめざします。

遊びの楽しさは、子どもが**遊びたい**という意欲から、自ら**遊びだす**ことで始まります。そして、**遊びこむ**ことで、遊びの楽しさやおもしろさが深まったり広がったりしていきます。十分に遊びこむことが**遊びきる**ことにつながり、遊びきることで心地よい満足感や達成感を味わっていくのです。この満足感や達成感といった自己充実感が自信となり、新たな遊びを生み出すエネルギーになるのです。このエネルギーが育つことで気持ちの切り替えにつながるのです。

そのため、幼稚園・保育所・認定こども園では、友達とたっぷり遊ぶ時間と場を保障し、心ゆくまで遊びきるができる環境を構成することが必要となります。

また、幼児教育・保育の専門家である保育者が、主体的な遊びを中心とした乳幼児期にふさわしい生活をつくっていくことが重要です。（「鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版）」P 1 1）

### 『遊びの中の学び』

子どもは、幼稚園や保育所、認定こども園で、興味や関心に基づいた自発的な活動や具体的な体験を通して多くのことを学びます。子どもの遊びには、成長や発達にとって重要な体験がたくさん含まれています。遊びは幼児期にふさわしい学びなのです。

その学びの質を高めるために、保育者は幼児の内面を理解し、幼児が経験していることを的確にとらえなければなりません。（「鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版）」P 1 2）



保護者版リーフレット  
『遊びきる子ども』を  
めざしてより

## 2 「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集」の内容

### 園の特色ある取組

＊職員の間通理解や保護者の理解・啓発、職員研修の進め方などを紹介しています。  
→第II章（3ページ～）

### 実践事例（29事例）

＊各園の特色を生かした保育実践等を紹介しています。  
→第III章（27ページ～）

### 「園内研修用DVD」で紹介した実践

＊別添のDVDの内容を紹介しています。DVDと合わせて園内研修の参考とすることができます。  
→第IV章（58ページ～）

### 円滑な接続に向けた取組

＊様々な取組や交流活動の指導案等を紹介しています。  
→第V章（68ページ～）

**保育者の資質や園の保育力・教育力の向上、  
小学校と園との円滑な接続のために活用を！**

## 3 「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集」の活用

「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集」は、「鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版）」、「鳥取県幼保小連携カリキュラム」及び「園内研修用DVD」と合わせて、幼稚園、保育所、認定こども園等（以下「幼稚園等」）及び小学校等において以下のように活用することができます。

### 【参考となる内容】

#### 幼稚園等で

##### 【教育・保育の充実】【相互理解】

- ・園内研修の内容や方法
- ・環境の構成、再構成
- ・保育者の援助
- ・保護者の理解・啓発の方法
- ・小学校との連携
- ・円滑な接続をめざす取組（指導案・交流活動 等）

**園全体、年齢別、個人等の  
研修に活用**

#### 小学校等で

##### 【教育の充実】【相互理解】

- ・乳幼児期の発達や保育
- ・円滑な接続をめざす取組（スタートカリキュラム・交流活動 等）

**学校全体、学年、個人等の研修に活用**

#### 幼保小合同の研修等に活用

##### 【活用場面】

- ・乳幼児・児童の交流活動
- ・教職員合同研修会
- ・幼保小連絡会
- ・幼保小連携協議会